

事業計画書

ア 計画施設内容（事業を行う理由を、必要性も含めて記入する。）

今までは〇〇（現状は）だったが、〇〇したいので、〇〇する必要がある等具体的に記載する。
別紙に記載の場合はその旨を記入。

イ 候補地の検討

- 事業の目的
 - ・事業の目的を詳しく記入
- 事業の必要性
 - ・事業の必要性を詳しく記入
- 当該地を選定した理由
 - ・選定理由を詳しく記入
- 候補地（申請地を含む）として選定した土地の概要及び検討結果
 - ・候補地として選定した要件

例) 事業目的を達成する上で必要な条件として以下のことを満たしている土地において候補地を選定した。

- ① 必要最小限の面積を確保できること。
- ② 〇〇法の〇〇基準を満たすこと。
- ③ 周辺の農地に支障が無いこと等。

- ・候補地とした土地の概要及び検討結果

候補地の検討結果参照

ウ 地目別面積

農地のみ 農地以外有り

合計 499 m² (田: m², 畑: 385 m², 山林: 114 m², : m², : m²)

エ 申請に係る農地と一体として利用する農業以外の土地の権利の取得見込み

農地以外の土地の権利の取得見込みを記入する。該当が無ければその旨記載する。

オ 用水・排水・調整池計画

用水・排水・・・具体的にどうするのか記述 調整池計画・・・該当がある場合に記載

カ 防災計画（工事中・施工後） ※作業時間、安全対策等

該当無ければその旨記載。

キ 周辺農地の営農条件への被害防除対策（農業用排水施設、日照、通風への影響、土砂流出防止等）

※ どのような対策を取るのか。該当ない場合はその理由を記載する。

ク 隣接農地所有者・耕作者への説明状況等 ※実施時期、方法、状況等

いつ、どこで、誰に、何を説明したのか。

相手は、了承したのか、了承しなかったのか、なにか条件が付けられたのか等を記入する。

ケ 一時転用期間の説明（必要最小限度の期間であることの説明）

必要最小限度の期間であることの説明。該当無ければその旨記載する。

コ その他（離農措置等）事業が必要になった理由を詳細に記入 ※特殊な事業の場合は要記入

候補地の検討結果

【候補地A】

- ①土地の所在 茨城町大字〇〇字△△123-4
- ②土地の面積 全体面積 499 m²
うち農地面積 385 m²
- ③農振法との関係
農業振興地域 内・外
農用地区域 内・外
- ④都市計画法との関係
都市計画区域 内・外
地域区域の種類 市街化調整区域
- ⑤土地の状況 休耕地（畑）
- ⑥周辺農地への影響 なし
- ⑦検討結果 所有者も譲渡の意思があり、現在の住まいの近隣で実家からもある程度近隣であることから申請地に決定。

【候補地B】

- ①土地の所在 茨城町大字□□字△△987-6
- ②土地の面積 全体面積 1,000 m²のうち490m²
うち農地面積 490 m²
- ③農振法との関係
農業振興地域 内・外
農用地区域 内・外
- ④都市計画法との関係
都市計画区域 内・外
地域区域の種類 市街化調整区域
- ⑤土地の状況 耕作地（畑）
- ⑥周辺農地への影響 やや少ない
- ⑦検討結果 所有者も譲渡の意思が弱く、実家からはある程度近隣であるが現在の住まいから遠いため却下。

【候補地C】

- ①土地の所在 茨城町大字〇〇字△△432-1
- ②土地の面積 全体面積 500 m²
うち農地面積 m²
- ③農振法との関係
農業振興地域 内・外
農用地区域 内・外
- ④都市計画法との関係
都市計画区域 内・外
地域区域の種類 市街化調整区域
- ⑤土地の状況 雑種地
- ⑥周辺農地への影響 少ない
- ⑦検討結果 実家からはある程度近隣であるが、所有者に譲渡の意思がないため、却下。

サ 添付書類

候補地位置図は、別添「〇〇」のとおりです。